

第 29 期第 4 回仙台市図書館協議会会議録

- ◎ 会議の日時・場所 令和元年 11 月 13 日（水）15 時 00 分～17 時 00 分
仙台市泉図書館 2 階 大研修室
- ◎ 出席委員の氏名 遠藤仁委員、加藤則幸委員
小林直之委員、新迫宏委員
杉山秀子委員、根岸一成委員
渡辺祥子委員、渡邊千恵子委員、渡辺通子委員
- ◎ 事務局職員氏名 市民図書館長 武者元子、市民図書館副館長 松島桂一
泉図書館長 高橋三也、宮城野図書館長 柴田聡史
太白図書館長 田中千代子、広瀬図書館長 相澤滋
榴岡図書館長 今野宏、若林図書館長 山口宏
市民図書館企画運営係長 早坂江美子
市民図書館奉仕整理係長 山田千恵美

◎ 会議の概要

- 1 開 会
- 2 挨 拶
- 3 議長の選出

仙台市図書館条例施行規則第 14 条第 3 項にもとづき、遠藤仁会長が議長となった。

4 会議録署名委員指名

会長より、新迫宏委員を指名。

5 報告事項

（1）平成 30 年度仙台市図書館事業報告書について

（市民図書館副館長 説明）

資料にもとづき説明

議 長 これについては、委員の皆様から意見をいただいて事務局でまとめたもので、既に今年度の施策に取り入れているものもある。四つの柱に従い、着実に進めており、日頃の取り組みが優れていることが分かる。今後につなげていきたいと思うので、報告書の内容に関わらず自由に意見をいただきたい。

議 長 SNS での情報の発信について、Twitter^{ツイッター}をフォローしている人は今どういう状況か。数字をどう理解するか難しいところもあるが、着実に増えているのか。

事 務 局 現在 460 フォロワーで（令和元年 11 月 13 日現在）、少しずつ増えてきている。フォローをしなくとも、閲覧のみの利用も多く、時々見に来るような使い方もしていただければと思う。様々なツールで情報発信していきたいということで始めた取り組みであ

り、今後も継続していきたい。

議 長 ある小学校の先生から、発展学習として読書活動支援をしたいと相談を受けたが、読書活動支援としては、国語の指導の延長ではなく、もう少し手立てを工夫したほうがよいと話したことがある。

そういうときに、学校から、充実した児童書コーナーや、ノウハウを持った職員がいる図書館に相談ができれば、教科から読書へと広げていく手立てがあるのではないか。どうしても読書活動推進というと、先生方は国語の枠の中に狭く収めようとしてしまうところがあるように思う。中学校ではいかがか。

加藤則幸委員 先日、東北地区の学校図書館の大会に参加してきたが、そこでも国語の読書に偏ると、図書館の役割が限定的になってしまうという話があった。今は、すぐにインターネットで調べてしまうが、図書館で調べることは基本的なことであり、調べる場所として様々な教科で使える図書館が重要と思っている。中学校の図書館は読み物の数が大変多く、貸出数の話が主になる。報告書の11ページに「学校との連携」とあるが、学校側にももっと市の図書館を使って調べ物をするという機会があるとよいのではないか。

小さな市町村の学校図書館は、地域の公共図書館と連携していた。仙台市でも児童が調べものをする場所として図書館を活用する位置付けができるのではないか。読み物だけではなく図書館の活用をもっとアピールしていく必要がある。

事務局 折り紙や工作の本、図鑑などが子どもたちに人気である。調べものまでいかなくとも、簡単なやり方を調べることから始められる。図書館としてもPRをしていかなければならないと考えている。

議 長 仙台市は都市の規模に比べて図書館の数が少ないということもあるだろうか。

加藤則幸委員 他県では、学校の隣に図書館があり、学校に専門的な司書の方がいなくても、図書館の司書の方が学校にも関わってくれることもある。市の図書館が持つ膨大な本の情報を学校現場にうまくつなげられるとよいと思う。

議 長 学校の立場からすると図書館の距離がまだ遠いと感じる。読書に限らず、図書館が情報センターのような役割を担うことも考えられるのではないか。

渡辺通子委員 ホームページを拝見するたびに進化を感じる。対象とする世代ごとにページや表現を変えており、例えばヤングアダルトのページでは、本好きの中高生が自ら発信している。中高生がこのような本を読んでいるのだ、町の本屋さんや本好きの方が、こんな本を紹介しているのだと見えてくるものがあり、図書館側が今後どのように展開していくか、とても興味深く感じている。

事務局 子どもたちが各図書館にお勧めの本を投稿してくれたものをホームページに掲載している。1枚の紙にイラストを描いてくれる方もおり、その紙自体をPDF化して掲載し、テキストで内容を掲載している。個人情報等に配慮して、本名ではなくペンネームによる発信である。中高生の方の感性や感想がそのまま出ており、また、自分の投稿がそのまま掲載されるということで、動機付けにもなっている。受け取る側も同世代が読んでいる本が分かるので、良い取り組みだと思っている。

議 長 宮城教育大学附属図書館でも、以前出入口に短冊を貼っていたことがあるが、同世代

が勧めていると興味を持って立ち止まる。大学生に対しては明らかに効果があった。

議 長 事業報告書はよくまとまっており、これでよろしいか。
各 委 員 了解。

(2) 指定管理者制度導入館の平成 30 年度管理運営状況について

(市民図書館副館長 報告)

資料にもとづき報告

議 長 3 館ともすべて S 評価ということだ。館長会議の開催は毎月だったか。各館の情報共有をどのように図っているか。

事 務 局 直営館と指定管理館の館長が集まって情報共有する館長会議を毎月開催しており、一体的に図書館サービスを展開できている。

議 長 委員の皆さんから質問や意見はあるか。

渡邊千恵子委員 評価分野が総則では 2 項目、施設の運営管理体制では 7 項目あるが、評価はこの項目ごとに行っているのか、点数による評価なのか。

事 務 局 点数による評価である。1 項目 3 点満点で、8 項目で 24 点中何点満たしているか。項目ごとに評価点数があり、中には 1 点が満点の項目もある。3 館とも、満点に近い評価ということになる。

渡邊千恵子委員 3 館とも点数が高いが、S S 評価は更に基準が高いということか。

事 務 局 満点にさらに加点するというので、S S 評価はとてもハードルが高い。仙台市の統一的な基準となっている。

渡邊千恵子委員 逆に評価分野の中であまり高くない分野はあるか。

事 務 局 いずれの図書館も仙台市の求めるレベルを満たしていると考えており、低い点は特に認識していない。

渡邊通子委員 先ほどのホームページの発言にも関連するが、図書館ごとに市民に可視化されていく形になるので、それぞれの図書館の特徴を打ち出すといった考えはあるか。

事 務 局 ホームページには各館のイベントを掲載しているほか、図書館の発行物のページもあり、各館の特色ある発行物を掲載し、情報発信に努めている。ご意見をいただいたように、ホームページ上で図書館ごとに PR するなどの具体的な計画は今のところないが、常に工夫をしていきたいと思っている。各館の特徴が分かりやすいような発信がどういう手法なのか相談していきたい。

議 長 指定管理者については、運営者の選定の際に、提出された企画書にもとづき、手続きを経て運営者が決まっており、それぞれ一定水準以上のものを持っている。先ほど話にあったように、毎月館長会議を行い、各館の交流を深め、全館の優れた取り組みとなって表れてきていると思う。

評価の観点については、図書館に限らず仙台市の公共施設についての評価基準にもとづくものであるが、良い結果である。

根岸一成委員 それぞれの館で独自の企画や情報発信をされているのが、とても素晴らしい。榴岡図書館では、島崎藤村のコーナーを設けており、若林図書館では、真山青果の講演会を開催するなど、地元に着した魅力的な取り組みを行っている。

宮城県図書館は泉図書館と同じ泉区内にあるがこれまで接点が少なかった。独自の課題や共通の課題について、情報交換や情報共有、協力して企画ができれば、宮城県図書館としても勉強になる。相互に良い関係づくりができればよいと思う。

事務局 宮城県図書館は非常に児童書が充実しており、泉図書館には子供図書室がある。今後は連携させていただきたい。

地域密着型の講座や取り組みは、広瀬図書館でも仙台高等専門学校の高専祭に参加するなど様々な形で地域に根差した取り組みをしている。Twitter^{ツイッター}でも情報発信を行っているので、ぜひフォローしていただきたい。

議長 報告2についてはこれでよろしいか。

各委員 了解。

(3) 政令指定都市における指定管理者制度の導入状況について

(市民図書館副館長 報告)

資料にもとづき報告

議長 ただいまの報告に関して委員の皆さんから質問や意見はあるか。

小林直之委員 全国的な規模で見ると、この5年ぐらいの図書館の指定管理者導入館数は、増えているか、減っているか。

事務局 全国的には少しずつ増えているところだ。一部直営に戻した図書館があるとのことだが、全体的な流れとしては少しずつ増えている。

議長 広島市では全館に導入しているとのことだが、どういう状況だろうか。

事務局 広島市は、指定管理者制度が公の施設に導入される前から、広島市の外郭団体が運営をしてきた経緯があり、同団体が非公募で指定管理者になっているようだ。仙台市の場合は公募型で3館に導入している。自治体によっては施設管理のみを指定管理に出しているなど、事情は様々だ。指定管理者制度といっても一律ではないのが現状だ。

議長 全国的な規模で見ると、指定管理は進んでいるとのことだが、どの程度のバランスが適当だろうか。専門職の人材育成など難しい課題もあり、どう考えればよいか。取り組み状況や評価を見ると、仙台市は現状でバランスがとれているように見受けられるがどうだろうか。この件についてはよろしいか。

各委員 了解。

6 その他

(市民図書館長 説明)

市民図書館の休館について報告

事務局 令和2年1月から2月にかけて、市民図書館の天井の修繕工事を行うことになり、それに伴い休館することになった。昨年7月、天井の建材が剥がれ落ちる事故が起き、来館者の方が1名軽傷を負われたことがあり、その後、点検を行いネットでくるむなどの対応をしているが、今回本格的に修繕を行う。1月20日から2月27日まで休館となり、2階3階4階について一般利用ができなくなる。この期間を利用し蔵書点検を行うほか、2月4日以降は、休館中でも予約資料の受け取りができるよう臨時窓口を設置したい。利用者の安全を最優先に考えた対応であり、ご理解いただきたい。今後広報に努めていく。

議長 他館を通して市民図書館の蔵書を利用することは可能か。

事務局 蔵書点検をしている期間は停止するが、終了後は他館で受け取ることができる。それについては利用者から相談があればお伝えしたい。2月4日以降は、市民図書館の館内には入れないが、臨時に窓口を設けて予約した本をお渡しできるようにする。

配付チラシについて説明

渡辺祥子委員 「仙台市職員のための新着図書案内」が興味深い。どのような形で職員の皆さんにお知らせしているのか。反応はあったか。

事務局 職員の各自のパソコンから閲覧できる掲示板があり、掲載している。職員研修所より掲示させてほしいとの依頼があった。

渡辺祥子委員 様々な職種で必要となるのではないか。よい取り組みだ。

小林直之委員 選書は誰が行ったのか。

事務局 図書館の一般書の選書担当者が、毎週の選書の際に業務に役立つような本を選んでリストアップしており、年に数回、不定期で発行している。

議長 次回の協議会の日程について事務局からご提案願う。

事務局 事務局から次回の協議会の日程について連絡。

議長 以上で議事を終了する。

議事終了後、泉図書館を視察

7 閉会